



桶川東中だより

☆☆令和3年度☆☆

桶川東中学校通信 No.11 発行：3月3日（木）

「切り替えと支え合い」

～貫いたキープスマイル、ステイポジティブ～

校長 矢澤 等

2月4日から20日の17日間で行われた、2022冬季北京オリンピックが閉幕しました。日本選手たちは、冬季最多となる、金3、銀6、銅9と計18個のメダルを獲得し、私たちに喜びや感動を与えてくれました。特に、前回の平昌オリンピックでの銅メダルに続き、見事銀メダルに輝いた女子カーリング日本代表チームのロコ・ソラーレの快挙には、日本中が熱狂しました。競技別テレビ視聴率も、「決勝 日本 v s イギリス」が29.2%で第1位となり、多くの人たちが応援していたことがわかります。

『キープスマイル、ステイポジティブ』は、ロコ・ソラーレのチームコンセプトです。4年前の平昌オリンピックでこの言葉が注目されました。笑顔を絶やさず、常に前向きであることがメダル獲得につながったと専門家も言っています。日本のことわざ「笑う門には福来る」や、海外の「Laughter is the best medicine (笑いは最良の薬)」のように、困難な場面でも、笑顔によって良い流れを呼び込むことの大切さが話題となりました。

メディアでは、常に明るいメンバーとして取り上げられている彼女たちですが、銅メダルを獲得してからの4年間は、「勝つことが当たり前」というふうに思われ、自分たち自身でプレッシャーをかけてしまい、競技することが辛い時期もあったそうです。それでも、不安やプレッシャーを全員で共有すれば、それが軽減され、お互いを支え合ってプレーできることを再認識し、仲間を肯定する精神が根付いたといえます。

オリンピック期間中、対戦した海外選手たちが「一緒に戦っていてすごく楽しい」と、日本チームを称賛しています。成績以上に、チームのあり方で存在感を示したことが素晴らしいと思います。メンバーの一人が、「大変な舞台で苦しそうな顔、辛そうな顔をするのは誰でもできると思うんですけど、楽しむには、たぶん覚悟がいる。」と述べました。ピンチでも気持ちを切り替え、互いに支え合い、チームコンセプトを貫く姿勢が多くの人たちの胸を打ったのだと思います。

3月の生活目標

☆環境整備に努めよう。

☆一年間のまとめをしよう。

重点目標

○儀式に気持ちを込めて臨む。

○清掃に力を入れる。

